

令和3年8月19日付お知らせ

1. 令和3年8月16日付にて、お知らせいたしました当院病棟勤務の看護職員1名が新型コロナウイルス感染症に感染した件につきまして、その後、当該職員が所属する病棟の患者さん(41名)全員及び同病棟勤務ならびに接触があった職員(32名)に対し、8月18日までにPCR検査を実施し、全員陰性との検査結果を得ました。陽性者発症以後、同病棟への新規入院患者の受入を中止しておりますが、今般、保健所のご指導を仰ぎ、8月20日(金)より、通常どおり同病棟への新規入院受入を再開することと致しました。
2. 8月18日に上記1とは別の病棟勤務の看護職員が新型コロナウイルス感染症に感染したとの報告がありました。当該職員は8月13日の夜勤明け後、翌14日に同居家族が新型コロナウイルス感染症の陽性が判明したため、即日、PCR検査を受け陰性との結果を受けましたが、事後、自宅待機と致しました。

その後、当該職員は8月16日より発熱等の症状があり、翌17日に、他院にてPCR検査を実施したところ、陽性であることが判明しました。

保健所にもご相談の上、当該職員は8月13日朝以降、自宅に待機しており、所属病棟の患者さん、職員との接触は一切ないため、病棟への影響はないものと判断し、同病棟は通常どおり運営することとなりました。

皆さまには、ご心配ご迷惑をおかけし、誠に申し訳ございません。

一般財団法人 精神医学研究所 附属
東京武蔵野病院
院長 黄野 博勝